MW600
ユーザーガイド

1

2

Publication number: 1234-2214.2

各部の名称と機能

1. マイク
2. 通話ボタン
   着信応答/終話、通話用携帯電話の選択モード切替えなどを行います。
3. ディスプレイ
4. タッチコントロールセンサー
   音量調節、機器選択、モード選択などを行います。
5. 電源ボタン
6. 充電端子（microUSB）
7. ヘッドホンコネクター
   （3.5mmステレオミニジャック）
8. クリップ
9. ▶▶|ボタン
   曲送り/早送り、ＦＭラジオ周波数の選択などを行います。
10. ▶IIボタン
   再生/一時停止、音楽用機器・ＦＭラジオ選択モード切替えなどを行います。
11. |◀◀ボタン
   曲戻し/巻き戻し、ＦＭラジオ周波数の選択などを行います。

ディスプレイに表示されるアイコン

- 電池残量（三段階表示）
  - 十分
  - 中位
  - 残量少
- 充電中
- 待ち受け時に表示
- ペアリングの待機（ペアリングモード）
- 着信中
- 発信中
- 通話中
- ボイスダイヤル
- マイクミュート
- 接続試行中
- 音楽の音量調節
- 通話音声の音量調節
- 音楽用機器・FMラジオ選択メニュー
- 通話機器選択メニュー
- 音楽・ゲームモード選択メニュー
- ゲームモード
- 音楽モード
- FM ラジオ
- 携帯電話
- PC
- PSP®「プレイステーション・ポータブル」go
- その他機器
- 未登録スロット

！ 同じ種類の機器が２台以上ペアリングされると機器を識別するためにアイコン右下に１から順に番号が付きます。通話機器選択メニューと音楽用機器選択メニューに表示される同じ番号のアイコンは同一機器を表します。

はじめに

MW600 は、*Bluetooth* 無線技術を利用したワイヤレスステレオヘッドセットです。

携帯電話と接続してハンズフリーで通話ができます。さらに、音楽、ワンセグ音声、ゲーム音声をワイヤレスで楽しめ、単体のＦＭラジオとしても利用可能です。

ご利用にあたっては、携帯電話またはその他の機器が次の *Bluetooth* プロファイル（*）に対応している必要があります。

通話用

・HFP（ハンズフリープロファイル）もしくは HSP（ヘッドセットプロファイル）

！ HFPとHSP両方対応している携帯電話の場合にはHFPを使用してください。

音楽・ワンセグ・ゲーム用

・A2DP（オーディオプロファイル）とAVRCP（AVリモコンプロファイル）

（*）プロファイルとは、*Bluetooth*機器の特性ごとに機能を標準化した規格です。

充電

本ヘッドセットを購入後、はじめて使用する場合は付属の充電器で約８時間充電する必要があります。初回以降の充電時間は約２時間です。

付属の充電器を必ずご使用ください。

充電端子の向きに注意して挿入してください。（図２を参照）

⚡マークが付いた側を MW600 のディスプレイ側に向けて挿入してください。

付属の充電器は Sony Ericsson 製のワイヤレスヘッドセット以外には使用しないでください。

！ 充電中にヘッドセットを使用することはできません。

ヘッドセットのオンとオフ

ヘッドセットをオンするには

・ディスプレイ表示がオンになるまで電源ボタンを押し続けます。

！ 自動的に選択された機器への接続を行います。

ヘッドセットをオフするには

・ディスプレイ表示がオフになるまで電源ボタンを押し続けます。

ヘッドセットのペアリング（登録）

ヘッドセットを使用する前に、ヘッドセットと接続機器のペアリング（登録）が必要です。

リセットなどによりペアリング情報が消去されたり、別機器とのペアリングで上書きされない限り、一度ペアリングすれば次回からペアリングする必要はありません。

購入後初めて使用する場合や、ヘッドセットをリセットした後はヘッドセットの電源をオンするだけで自動的にペアリングモードになります。

ヘッドセットを携帯電話とペアリングするには

1. ヘッドセットの電源がオフになっていることを確認します。
2. 携帯電話をヘッドセットに近づけます。
3. ヘッドセットのディスプレイにペアリングモードアイコンが表示されるまでヘッドセットの電源ボタンを押し続けます。
4. 携帯電話の*Bluetooth*機能をオンにします。手順については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
5. 携帯電話で*Bluetooth*検索（探索）モードをオンにします。
6. 携帯電話の画面に表示された「MW600」を選択します。
   「MW600」と表示されない場合は、もう一度携帯電話で*Bluetooth*検索するか、手順１から操作を行ってください。
7. 携帯電話の画面でパスキー(*)の入力が要求されたら0000を入力します。

（*）パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります

ヘッドセットを他機器とペアリングするには

・ヘッドセットを携帯電話以外の機器とペアリングするときも携帯電話とのペアリングと同様の手順で操作してください。

複数の機器とペアリングするには

・2台目以降の機器とのペアリングも１台目のペアリングと同じ手順で行います。
・最大3台まで登録できます。
・3台目までは登録された順にスロット１から３に登録されます。
・既に3台登録済みで新たな機器をペアリングするときは、登録済みの3スロットのいずれかに上書きすることができます。
・上書きするスロットを選択するときはタッチコントロールセンサーを使用します。
・ペアリング直後は新規にペアリングされた機器が自動的に選択されます。
・登録された機器の種類によって、携帯電話、PC、PSP、その他機器のアイコンがスロットに表示されます。

機器の切替え

ペアリング済みの機器が２台もしくは３台ある場合、ヘッドセットを操作して使用する機器を切替えることができます。

機器を切替える前に、接続したい機器の *Bluetooth* 機能をオンにしてください。

機器を選択すると、ヘッドセットはその機器に接続を行います。

通話用携帯電話を切替えるには

1. 通話ボタンを長押しします。
2. 通話機器選択メニューが表示された後、登録された機器のアイコンが表示されます。
3. タッチコントロールセンサーを指でなぞり、切替えたい機器に〔　〕を合わせます。
4. タッチコントロールセンサーから指を離すとその機器が通話用携帯電話として選択され、その機器に接続を行います。

音楽用機器・FM ラジオを切替えるには

1. ▶IIボタンを長押しします。
2. 音楽用機器・ＦＭラジオ選択メニューが表示された後、FMラジオのアイコンと登録された機器のアイコンが表示されます。
3. タッチコントロールセンサーを指でなぞり、FMラジオあるいは切替えたい機器に〔　〕を合わせます。
4. タッチコントロールセンサーから指を離すと、FMラジオか音楽用機器が選択されます。音楽用機器を選択した場合はその機器に接続を行います。

音量調節

タッチコントロールセンサーを指でなぞって音量を調節します。

タッチコントロールセンサーの端から端までなぞると音量調節表示になります。

音量調節表示の状態でタッチコントロールセンサーを指でなぞると音量調節ができます。

指を離したときの音量で設定されます。

！ タッチコントロールセンサーを指でなぞり、タッチコントロールセンサーの端（＋または－付近）に指を固定すれば、連続的に音量を調節することが可能です。

受話音量を調節するには

・通話中に指でタッチコントロールセンサーを操作して音量を調節します。
・通話音声調節中は「通話音声の音量調節」表示になります。

音楽、FM ラジオ、ワンセグの音量を調節するには

・音楽の再生中もしくはポーズ中にタッチコントロールセンサーを操作して音量を調節します。
・通話音量調節中以外は音楽、FMラジオ、ワンセグの音量調節になり、音量調節中は「音楽の音量調節」表示になります。

！ 音楽、FMラジオ、ワンセグの音量は共通の音量が適用されます。

携帯電話からヘッドセットの音量を調節するには

・携帯電話がヘッドセットの音量を調節する機能に対応していれば、携帯電話を操作して受話音量と音楽の音量を調節することができます。

通話

通話用機器選択メニューで通話に使用したい携帯電話を選択してください。

通話中はディスプレイに通話時間が表示されます。

電話をかけるには

・携帯電話を操作して、電話をかけます。発信後、ヘッドセットで自動的に通話できない場合はヘッドセットの通話ボタンを押すか、携帯電話を操作してヘッドセット側に通話を切替えてください。携帯電話の操作方法は携帯電話の取扱説明書を参照してください。

電話を切るには

・ヘッドセットの通話ボタンを押します。

着信

・通知音と着信電話番号で着信をお知らせします。

！ 音楽やFMラジオ、ワンセグを聴いている最中でも同様に通知音と着信電話番号で着信をお知らせします。

着信を受けるには

・ヘッドセットの通話ボタンを押します。

！ 音楽やFMラジオ、ワンセグを聴いている最中でも着信を受けることができます。着信と同時もしくは電話にでると自動的に再生中の音楽やFMラジオは止まります。

！ 2台以上の携帯電話を登録している場合は通話用携帯電話として選択されていない携帯電話に着信があった場合でも、携帯電話の*Bluetooth*機能がオンであれば、通話用携帯電話の切替え操作によってヘッドセットで着信を受けることができます。

着信呼び出し中の電話番号もしくは名前の表示

・非通知もしくは通知不可でなければ、着信時に着信電話番号がディスプレイに表示されます。
・着信時に発信者名をヘッドセットに送信する機能を持った携帯電話では、携帯電話の電話帳に登録された名前がディスプレイに表示されます。携帯電話の仕様をご確認ください。

着信を拒否するには

・通知音が鳴るまでヘッドセットの通話ボタンを押し続けます。

最後にかけた番号にリダイヤルするには

・ヘッドセットの通話ボタンを１秒以内に２度押しします。

！ 音楽やFMラジオを聴いている最中でもリダイヤルすることができます。発信と同時に自動的に再生中の音楽やFMラジオは止まります。

割り込み着信

・通知音で割り込み着信をお知らせします。
・割り込み着信を受けるには、ヘッドセットの通話ボタンを押します。通話中の人との通話が保留になります。
・割り込み着信を拒否するには、通知音が鳴るまでヘッドセットの通話ボタンを押し続けます。
  携帯電話によっては、割り込み着信を拒否できない場合があります。
・通話する相手を切替えるには、通知音が鳴るまでヘッドセットの通話ボタンを押し続けます。通話中だった相手は保留になります。
・保留中の通話がある場合、ヘッドセットの通話ボタンを押すと通話中の相手との電話が切れます。
・携帯電話によっては、保留中の通話が通話に切替わる場合と、保留中の電話も同時に切れる場合があります。携帯電話の取扱説明書を参照してください。

通話中にマイクをミュートするには

・通知音が鳴るまでヘッドセットの▶IIボタンを押し続けます。
・マイクミュート中はディスプレイにマイクミュートのアイコンが表示されます。ミュートを解除するには、再度通知音が鳴るまでヘッドセットの▶IIボタンを押し続けます。

ボイスダイヤルを搭載した携帯電話で使用する場合

・携帯電話がヘッドセットからのボイスダイヤルに対応しているとき、ヘッドセットからボイスダイヤルを使うと便利です。ボイスダイヤルについて、詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照してください。

ボイスダイヤルを使用して電話をかけるには

・待機中に通話ボタン③を押します。
・通知音が鳴るまで待ち、ヘッドセットのマイクに向かって電話帳登録の名前などを言います。ボイスダイヤルのモードにあるとき、ディスプレイにはボイスダイヤルのアイコンが表示されます。
・ボイスダイヤルに対応していない機器や、対応していてもボイスダイヤルの設定がオンになっていないときは、通話ボタン③を押すと非対応を示す通知音が鳴ります。
・ボイスダイヤルを解除するには、もう一度通話ボタン③を押します。

! 音楽やFMラジオを聴いている最中でもボイスダイヤルを開始することができます。ボイスダイヤルモードに入ると自動的に再生中の音楽やFMラジオは止まります。

音声の転送

・携帯電話で通話中に音声をヘッドセットに転送するには、ヘッドセットの通話ボタン③を押すか、携帯電話で操作します。
・ヘッドセットで通話中に音声を携帯電話に切り替えるには携帯電話を操作します。
・携帯電話の操作で音声を転送する方法は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

音楽・ワンセグの音声を聴く

音楽用機器・FM ラジオ選択メニューで音楽・ワンセグの音声を聴く携帯電話または音楽用機器を選択してください。

! 通話用携帯電話が接続されていれば、音楽・ワンセグの音声を聴いているときでもヘッドセットで電話の着信を受けることができます。

音楽を聴くには

・携帯電話でメディアプレーヤーを起動し、音楽の出力先としてヘッドセットを選択します。詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照してください。
・音楽の再生を開始したり、停止したりするには、ヘッドセットの▶IIボタンを押します。
・携帯電話または音楽用機器がAVRCP ver.1.3以上の楽曲タイトル送信機能に対応していれば、自動的にディスプレイに楽曲タイトルが表示されます。詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照してください。

曲送りと曲戻し

・メディアプレーヤーが起動中または音楽再生中に▶▶Iボタンまたは I◀◀ボタンを押します。

! 携帯電話や音楽用機器によっては、利用できない場合があります。

早送りと巻き戻し

・音楽再生中に▶▶Iボタンまたは I◀◀ボタンを長押しします。ボタンから指を離したところから再生が再開します。

! 携帯電話や音楽用機器によっては、利用できない場合があります。

ワンセグの音声を聴くには

・携帯電話でワンセグ放送を起動し、音声の出力先としてヘッドセットを選択します。詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照してください。

FM ラジオを聴く

FM ラジオを聴くには 1 台以上の機器とペアリングしてください。1 台以上の機器とペアリングされていないと音楽機器・FMラジオ選択メニューが表示されず、FM ラジオを聴くことができません。

! 通話用携帯電話が接続されていれば、FMラジオを聴いているときでもヘッドセットで電話の着信を受けることができます。

FM ラジオをオンにするには

・▶IIボタンを長押しし、タッチコントロールセンサーでFMラジオのアイコンを選択します。FMラジオがオンになります。

! FMラジオが選択されているとき、▶IIボタンでFMラジオをオン/オフすることができます。

! FMラジオが選択されると、音楽用機器とのA2DP/AVRCP接続は切断されます。

受信できる放送局を選局するには

・FMラジオを聴いているときに▶▶Iボタンまたは I◀◀ボタンを通知音が鳴るまで押し続けます。
・ヘッドセットが自動的に受信できる放送局を選局します。ディスプレイに選局された放送局の周波数が表示されます。

FM 周波数を手動で変更するには

・FMラジオを聴いているときに▶▶Iボタンまたは I◀◀ボタンを押すと、0.1MHz刻みで周波数を変更できます。ディスプレイに周波数が表示されます。

ゲームモード

ゲームや動画などを視聴するとき、映像よりもヘッドセットから出力される音声が遅れて聴こえることがあります。

ゲームモードにすると、その遅延時間を抑えることができます。ゲームモードは PC や PSP® 「プレイステーション・ポータブル」go との A2DP 接続時にのみ利用できます。

音楽モードとゲームモードを切替えるには

1. ▶▶Iボタンと I◀◀ボタンを同時に通知音が聞こえるまで押し続けます。
2. 音楽・ゲームモード選択メニューが表示された後、ゲームモードのアイコンと音楽モードのアイコンが表示されます。ゲームモードが使用できない機器と接続している場合は、ゲームモードのアイコンは表示されません。
3. モードを変更したいときは、タッチコントロールセンサーを指でなぞり、使用したいモードに［ ］を合わせます。
4. タッチコントロールセンサーから指を離すとそのモードが選択されます。

! ゲームモードでヘッドセットから音声が出力されなかったり、出力されても音途切れが発生する場合は音楽モードを選択してください。

! PSP goとのA2DP接続では最初にゲームモードが選択されています。

ヘッドセットのリセット

ヘッドセットが正しく動作しない場合は、ヘッドセットをリセットします。

ヘッドセットをリセットするとペアリングされている機器の情報が削除され、出荷時の状態に戻ります。

ヘッドセットをリセットするには

1. ヘッドセットの電源がオフになっていることを確認します。
2. ヘッドセットのディスプレイにペアリングのアイコンが表示されるまで電源ボタン①を押し続けます。
3. ヘッドセットがオフになるまで電源ボタン①と通話ボタン③を同時に押し続けます。

電池

購入後、はじめて使用する場合や長時間使用していない場合は、充電容量が下がり、数回の充電が必要になることがあります。

電池の残量が少なくなると、通知音が鳴ります。ヘッドセットを充電しないと、自動的にオフになります。

切断通知

携帯電話や機器との *Bluetooth* 接続が切れると、通知音が鳴ります。

時刻表示

HFP 接続された通話用携帯電話が現在時刻を通知できる機能を備えている場合は、待ち受け中に時刻が表示されます。

トラブルシューティング

携帯電話、その他の機器に接続できない

・ヘッドセットが充電されていて、接続したい機器との通信範囲にあることを確認します。障害物でさえぎられていない状態で、ヘッドセットをその機器から約10m以内の場所で使用することをおすすめします。
・ヘッドセットで接続したい機器が選択されていることを確認します。
・携帯電話、その他の機器で*Bluetooth*設定を確認するか、接続し直します。
・ヘッドセットのペアリングをもう一度やり直します。

リダイヤルが動作しない

・携帯電話の発信履歴が残っていない場合は、リダイヤル機能は使用できません。

正しく動作しない

・ヘッドセットをリセットします。

主な機能

ハンズフリー通話

・音途切れしにくいeSCO（extended SCO）対応
・高音質な通話を可能にするエコーキャンセルとノイズリダクションを搭載
・話す声の大きさに応じてマイクのゲインを自動で調節するウィスパーモード搭載
・リダイヤル、ボイスダイヤル、マイクミュート機能搭載
・割り込み着信に対応し、簡単操作で切替え可能
・着信時、発信者番号表示可能
・音楽、ゲーム、ワンセグ視聴中でも着信をお知らせし、電話に応答、拒否可能

高音質なステレオ音楽サウンドを実現

・3.5mm ステレオミニジャック
付属のヘッドホンや、お手持ちのヘッドホンが使用可能。
・日本語楽曲タイトル表示可能（*）

FM ラジオ

・FMチューナーを内蔵し、単体のFMラジオとして使用可能

マルチペアリング対応

・3台までの機器とペアリングでき、簡単操作で機器切替え可能
・2台の機器（通話用1台と音楽用1台）と同時に接続可能

Bluetooth 標準規格 Ver.2.1 採用

・簡単にペアリングできるSecure Simple Paring（SSP）に対応

音の遅れを小さくするゲームモード搭載

直観的な操作を可能にする液晶表示とタッチコントロールセンサー搭載

リモートボリューム調節機能対応

・通話音量と音楽の音量を携帯電話から調節可能

（*）携帯電話または音楽用機器がAVRCP ver.1.3以上（楽曲タイトル送信機能）に対応している必要があります。

主な仕様

基本仕様	通信方式		*Bluetooth* 標準規格 Ver.2.1 (EDR 2Mbps対応)
	出力		Power Class 1
	通信距離		約 10 m
	使用周波数帯域		2.4GHz (2.4000GHz ～ 2.4835 GHz)
	対応*Bluetooth*プロファイル		HFP (Hands-free Profile) Version 1.5 Role: Handsfree A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Version 1.0 Role: Sink AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) Version 1.4 Role: Controller AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) Version 1.4 Role: Target HSP (Headset Profile) Version 1.1 Role: Headset
	対応音楽コーデック		Subband Codec (SBC)
	対応コンテンツ保護		SCMS-T 方式
ＦＭチューナー	FM ラジオ受信周波数		76.0MHz ～ 90.0MHz
	アンテナ		ヘッドホンコードアンテナ
ヘッドセット	電源		DC3.7V : 内蔵リチウムイオン充電式電池 (バッテリ容量 : 170mAh)
	外形寸法		17.5mm × 15.0mm × 62.0mm
	質量		13.0g
	充電端子		micro USB
	マイク部	型式	4mm エレクトレットコンデンサー型
		型式	ダイナミック型、32 Ω
		ドライバーサイズ	9.2mm
	スピーカー部	周波数帯域	10Hz ～ 22000 Hz
		感度	100dBSPL/mW @ 1kHz
		トータル歪	＜ 0.5 % (100Hz ～ 10000Hz @ 1mW)
	表示部（ディスプレイ）		有機ＥＬ（12 × 125 ドット、白色）
充電器			入力 : 100-240V AC 100mA
			出力 : 4.9VDC 450mA

FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony Ericsson may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This device complies with RSS-210 of Industry Canada.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Declaration of Conformity for MW600

We, **Sony Ericsson Mobile Communications AB** of
Nya Vattentornet
SE-221 88 Lund, Sweden
declare under our sole responsibility that our product
Sony Ericsson type DDA-0002029
and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards **EN 300 328:V1.7.1, EN 301 489-7:V1.3.1, EN 301 489-17:V2.1.1 and EN 60 950-1:2006** following the provisions of, Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment directive **1999/5/EC**.

Lund, November 2009

CE 0682

Jacob Sten,
Head of Product Business Unit Accessories

R&TTE 指令（1999/5/EC）に適合しています。
本公司符合 R&TTE Directive **(1999/5/EC)** 中的規定。
我们符合 R&TTE 指令 **(1999/5/EC)** 的要求。
We fulfil the requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC).

本機の仕様及び外観は、予告なく変更することがあります。

出荷時に貼付されている保護シート上の表示は、実際の表示とは異なります。

「*Bluetooth*」は、Bluetooth SIG.Inc. の登録商標であり、ソニー・エリクソンはライセンスに基づいて使用しています。

PSP®「プレイステーション・ポータブル」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、"プレイステーション" および "PSP" は同社の登録商標です。

Sony Ericsson Mobile Commnications AB
SE-221 88 Lund, Sweden
1234-2209.2
Printed in Japan